

藝大IT-TIPS

No.7 (2020年12月)



メールに添付する「パスワード付き zip ファイル」を廃止する方針が政府で検討されていますが、どうしてでしょう。



パスワードを付けて暗号化したファイルをメールに添付することが、実は、セキュリティにあまり貢献していないことがわかってきました。

大事なファイルはパスワードを付けて保護するのが、セキュリティの常識だったのではないですか？



いままではそうです。ですが、ファイルをメールに添付し、また、パスワードもメールで送ると、別メールにしても、盗み見られる可能性は高いです。もっと怖いのは、最近、パスワード付きファイルが、メールシステムのウイルス検知処理をくぐり抜けてしまうことを利用して、多くのウイルスがパスワード付きファイルとして添付されてくる事例が増えています。



知り合いを騙って送られてきたファイルがパスワード付いてるし安全だと思っていたら実はウイルスだったなんてこともあるわけですね。



そうなんです。パスワード付きの添付ファイルに慣れてしまうことが、怖いんですね。だったら、お互いに、送らないようにしましょう。



そうしたらどうやってファイルを送ればいいんでしょう。



教職員の方は、Gigapod (<https://gigapod.geidai.ac.jp/>) が使えます。それから、教職員、学生とも、GoogleDrive を使って、ファイルを送ることが出来ます。



そのファイルの送り方、裏面で教えてください!!

藝大 IT-TIPS について

今回の IT-TIPS は、パスワード付き（暗号化ともいう）ZIP ファイルをメールに添付しないことの意味について説明しています。



メールにファイルを添付することについて

メールにファイルを添付することは、情報流出やウイルス感染の恐れがあるため、以前から利用しないようにとされています。最近では多くのウイルスが、パスワードをかけた（暗号化した）添付ファイルとして送りつけられる事例が増えているため、メールへのファイル添付をやめようという動きが加速しています。

GoogleDrive を利用したファイル送信

メール送信時、ファイルを添付するのではなく、GoogleDrive にアップロードしたファイルのリンクを送ります。あらかじめ GoogleDrive にアップロードしたファイルを指定する方法と、メール送信の際、新規にアップロードする方法があります。

- ・ファイルにアクセス権を設定することで、第三者のアクセスを禁止できる。
- ・アクセスの権限を、表示・集可で選択できる。
- ・GoogleDrive であらかじめ設定すれば、編集可、参照のみ、ダウンロード禁止など細かく設定できる。
- ・万が一、送り先を間違えても、アクセス権を変更するか、ファイル自体を GoogleDrive から削除すれば、情報漏洩の危険性が最小限になる。

詳しくは :<https://amc.geidai.ac.jp/geidai-account/advancedsetting/useggldrive/>



セキュリティインシデントに遭遇したら！！

何か怪しい、セキュリティ事故かもと思ったら、下記のいずれかの方法で、連絡してください。

電話：050-5525-2475（内線：4552）

050-5525-2474（内線：4551）

メール：cio-cert@ml.geidai.ac.jp

Web報告：<https://amc.geidai.ac.jp/system/secform/>

